

松波小学校だより

第3号
令和7年6月30日
能登町立松波小学校

「夏が育てる ころとからだ」

梅雨明けが待たれるこの頃、強い日差しや澄んだ空の色から、少しずつ夏の訪れを感じるようになり、校庭の木々は青々と茂り、子どもたちの元気な声とセミの鳴き声が響き合う季節となりました。

4月の入学・進級から3か月が経ち、子どもたちは新しい学年や新しい先生にもすっかり馴染みました。最初は緊張した面持ちだった1年生も、今では登校時に元気なあいさつが飛び交うようになり、学習や遊びに一生懸命取り組む姿が見られます。また、上級生たちもそれぞれの役割を果たしながら、下級生の手本となる行動をとってくれるようになってきました。

この3か月間、学校では様々な行事や学習活動を通じて、子どもたち一人ひとりの成長を日々実感することができました。うまくいかないことや、友達との意見の食い違いを経験することもあります。そうした経験を通じて学び、考え、少しずつ「自分の力で前に進む」姿が育っていることに、私たち教職員も大きな喜びを感じています。

7月は1学期のまとめの月です。日々の学びを振り返りながら、「できるようになったこと」「もっと頑張りたいこと」を見つめ直す良い機会です。ご家庭でもお子さんの成長にぜひ目を向けていただき、「よくがんばったね」「こんなところも成長したね」と、温かい声かけをしていただけたらと思います。



ここで、挑戦する姿勢の大切さを教えてくれる、元プロ野球選手・イチローさんの言葉をご紹介します。

「できるできないじゃない。やるんだ！」

この言葉には、「まずやってみることの大切さ」が込められています。子どもたちにとっての成長は、何かが“できる・できない”ということよりも、「やってみよう」と思える気持ちが大切です。夏休みに向けて、今から勉強や運動、家のお手伝いなど、小さなチャレンジを大切にしてほしいと思います。挑戦する気持ちは、子どもたちの心をぐんと強くしてくれるはずです。

夏休みを迎えるにあたっての過ごし方や生活面での注意事項などは、次号の学校便りで等で改めてご案内いたします。引き続き、1学期を良い形で締めくくれるよう、教職員一同で子どもたちを支えてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

松波小学校 校長 宮本秀人